allcinema

キカ（1993）

KIKA

メディア 映画
ジャンル ドラマ　アート
製作国　スペイン
色彩　Color
時間　115分
初公開日 1994/07/30
公開情報 ヘラルド・エース＝ヘラルド

【解説】
　ジャン＝ポール・ゴルチェによる奇天烈な衣装が何より目を引く、アルモドバルの例のごとくの“スタイリッシュな愛の世界”。マヌカン受けするようになってからの彼の映画は正直しんどい。ファッショナブルな表層の下に人間洞察の確かさが僅かに垣間見えるから、頭ごなしに否定もできないし……。主人公キカはメイクアップ・アーティスト。気だてよく行動的で、年下のハンサムで少し変わり者のカメラマン、ラモンが恋人だ。彼の自殺した母親の夫（つまり義父）の放浪作家（「赤い航路」と同じような役柄のＰ・コヨーテ）が彼女らの前に現われる。この男、どうも自分の行動したようにしか書けない女たらしのアプレゲール野郎だが、キカは魅かれてしまう。また、更に二人につきまとうのが“今日の最悪事件”なる報道番組を持つＴＶレポーターのアンドレア（このターミネーターのようなＴＶアンドロイドぶりが醜悪）。彼女はかつてラモンの分析医で恋人だった。その他、ピカソの絵から抜け出てきたような顔のレズのメイド、その弟の、童貞でポルノ男優になった巨根の青年等いろいろ入り乱れての原色の群像絵巻。物語の核の部分――ラモンの母の自殺の真偽――がなかなか興味深いだけに、エキセントリックにすぎる脇の描写がうるさく感じられる。“先端業界人”に憧れる専門学校生か下請けプロで働くミーハーの感性に合わせたようなキッチュ作。

【クレジット】

監督	ペドロ・アルモドバル	Pedro Almodovar
製作総指揮	アグスティン・アルモドバル	Agustin Almodovar
脚本	ペドロ・アルモドバル	Pedro Almodovar
撮影	アルフレッド・マヨ	Alfredo Mayo
衣装デザイン	ジャン＝ポール・ゴルチエ	Jean-Paul Gaultier
編集	ホセ・サルセド	Jose Salcedo
音楽	ペレス・プラド	
出演	ベロニカ・フォルケ	Verónica Forqué
	ピーター・コヨーテ	Peter Coyote
	ビクトリア・アブリル	Victoria Abril
	アレックス・カサノヴァス	
	ロッシ・デ・パルマ	Rossy de Palma
	サンティアゴ・ラフスティシア	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.